

第6学年社会科学学習指導案

日時 令和4年9月6日(火) 5校時
児童 6年1組 27名
指導者 田村 良利子

1 単元名 日本の歴史 5 全国統一への動き (「小学社会6年(教育出版)」)

2 単元について

これまでに、源氏と平氏を中心とした武士の起こりや政治の中心が貴族から武士に移ったことを通して、足利氏が中心的になって室町幕府を作ったことを学んできた。

そこで本単元は、応仁の乱のあと、全国の大名が争いを繰り返すようになった時代背景を捉えたうえで、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の3人が全国統一に果たした役割について学んでいく。そして、それぞれが行った政治の意味や世の中へ与えた影響について理解することをねらいとしている。

3 児童について

児童は、学区の長谷堂で出土した土器や赤崎町の大洞貝塚の学習をきっかけにして日本の歴史を学んできた。その中で、①どのように暮らしが変わってきているか②暮らしをよくするためにどのような工夫や努力をしているかを主な視点にし、自分たちの今の生活とどうつながっているか「ともに生きる暮らしと政治」とも関わらせながら学習してきた。

歴史への興味・関心は高い。しかし、調べたことや自分の考えを進んで発表したり、友達の発表に反応したりする児童は少ない。また、全体的に書くことに時間がかかる。資料の表題から分かることや必要な情報を読み取ること、教科書の文から関連する内容を探ること等の追究するための技能を高め、社会的事象と関連付けて考える力を育てていく必要がある。

4 単元の目標

- (1) 戦国の世が統一されたことについて理解するとともに、絵画資料や文化財、地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

- (2) 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の政治の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して、歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

- (3) 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の全国統一について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の動きや代表的な文化遺産などについて絵画資料や文化財、地図や年表などの資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の	① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、キリスト教の伝来、織田信長・豊臣秀吉の全国統一、江戸幕府の始まりについて考え、表現している。	① 織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の全国統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

全国統一、江戸幕府の始まりについて理解している。 ② 調べたことを年表や文にまとめ、戦国の世の中が統一されたことを理解している。	② 織田信長が勢力を伸ばした様子、豊臣秀吉が検知や刀狩りなどの政策を進め全国を統一した様子に関連付けたり統合したりして考え、表現している。	
---	---	--

6 指導と評価の計画 ※網掛けは評価したことを記録に残す評価 太字は指導に生かす評価

時	ねらい	評価方法と【評価規準】	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
1 ・ 2	長篠の戦いの様子に着目し、戦国の世の中から全国が統一されたことについて学習問題をつくり、学習の見通しを立てることができるようにする。	ノートの記述や発言内容から「長篠の戦いの様子から、問いを見出し、学習問題として表現しているか」を評価する。【思一①】 ノートの記述や発言内容から「学習問題について予想や学習計画を立てて主体的に追究しようとしているか」を評価する。 【態一①】	 興味や関心を高める  見通しを持つ	 共に考えを創り上げる	
学習問題：3人の武将は、全国統一にどのような役割を果たしたのだろうか。					
3 本 時	織田信長が行った政治やキリスト教の伝来を調べ、全国統一に向けて信長が果たした役割を理解することができるようにする。	ノートの記述や発言内容から「想像図や絵図を読み取り、信長の政治の特徴を理解しているか」を評価する。 【知一①】	 粘り強く取り組む	 多様な情報を収集する	
4	豊臣秀吉が行った政治を調べ、全国統一に向けて秀吉が果たした役割を理解することができるようにする。	ノートの記述や発言内容から「全国統一をした秀吉が、どのような社会の仕組みをつくったのかを理解しているか」を評価する。 【知一①】	 粘り強く取り組む	 思考を表現に置き換える	
5	徳川家康が行った政治を調べ、全国統一に向けて家康が果たした役割を理解することができるようにする。	ノートの記述や発言内容から「織田信長・豊臣秀吉の後を継いだ徳川家康が、どのようにして支配を固め、全国が統一されて新しい時代が始まったことを理解しているか」を評価する。 【知一②】	 粘り強く取り組む	 思考を表現に置き換える	
6	調べたことをまとめ、3人の武将によって戦国の世の中が統一されたことを理解し、3人の武将を比較し、果たした役割を考え、表現することができるようにする。	ノートの記述や発言内容から「3人の武将の政治を比較し、それぞれの政治が全国統一に果たした役割について考え、表現しているか」を評価する。 【思一②】		 互いの考えを比較する	 知識・技能を活用する

7 本時の指導計画

(1) 目標

織田信長が行った政治やキリスト教の伝来を調べ、全国統一に向けて織田信長が果たした役割を理解することができるようにする。

(2) 評価規準

観点	概ね満足できる児童の姿	努力を要する児童の手立て
知識・技能 想像図や絵図を読み取り、織田信長の政治の特徴を理解している。	資料から、商工業や外国との貿易など新しいことに取り組んで全国統一を目指したことを理解している。	予想をもとにした資料の選択ができているか関連する文に着目しているかを確認したり、アンダーラインを引かせたりする。

(3) 手立て

① 少人数においての話し合いの手立て

- ・資料から読み取ったことや関連する文からさらに調べたこと・考えたことを交流することで、資料や文を根拠にしての考えを深めさせる。☆1

② 全体の話し合いの手立て

- ・電子黒板で資料を提示することで焦点化を図り、話し合いの視点を明確にする。☆2
- ・分かりやすく相手に伝えるために電子黒板を操作して発表することを促す。☆3

(4) 展開

段階	学習活動 発問 (○) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点・評価
つかむ	<p>1 問題をつかむ</p> <p>このように領地を広げ、勢力を拡大していった織田信長。勢力拡大をしつつ、信長は安土城を築き、その下に町を作りました。</p> <p>○ この図 (ア「安土城と城下町」) からわかることは何ですか。</p> <p>C たくさん人がいる。 C 山の上に城が建っている。 C 商売が盛んだ。 C 水路がある。 C 舟で荷物を運んでいる。 C 武士がいる。 C 外国人がいる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>織田信長は、どのようにして全国統一を目指したのだろう。</p> </div> <p>2 学習の見通しをもつ</p> <p>○ 信長は、全国統一のためにどのようなことをしたのでしょうか。</p> <p>C 商業をさかんにして、人々の生活が楽になるようにした。 C 外国の文化や技術を取り入れて、政治に活かそうとした。</p> <p>3 資料を調べ考える</p> <p>(1) どの資料から調べるか決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ P 1 3 0 資料 (イ) 「上から見た安土城と城下町」をもとにした織田信長の勢力拡大図を電子黒板で提示する。 ・力を強くするためには、「人、武力、お金、志」が必要であったことを確認し、調べ進める大きな視点を意識させる。 ・表題と関わらせてどれが「安土城」か、また「城下町」の意味を押さえる。 ・電子黒板を活用して情報を整理し、捉えさせる。 <p>・各自の見通しをしっかりとさせるために、ネームプレートを活用する。</p> <p>・ P 1 3 0 ~ 1 3 1 の資料の中からア「キ</p>
9分		

深める

(2) 資料や教科書の文から分かったことや考えたことをノートに書く。

- ① 図や写真を見て分かることをノートに書く。
- ② ①に関係することを文から探して書く。
- ③ それらをもとに考えたことを書く。
- ④ 次の資料を調べる。



粘り強く
取り組む

4 考えを交流する

- (1) 3人グループを作り、わかったこと・考えたことを交流する。
- (2) 交流してわかったことをノートに書く。

5 学級全体で共有する

- ・信長が全国統一のためにどのようなことをしたのか発表してください。
- C 商人たちがだれでも自由に商売できるようにした。
- C 関所をなくして商工業をさかんにした。
- C ザビエルが広めたキリスト教を保護した。
- C ポルトガルやスペインと貿易をした。



多様な情報を
収集する

- なぜ、信長は外国との貿易をしたのでしょうか。
- C 外国の文化や技術を学ぶため。
- C 鉄砲を手に入れるため。
- C 利益を得るため。
- 信長がした「新しいこと」とは何でしたか。

リスト教の伝来とヨーロッパの文化」、ウ「日本にやって来たヨーロッパの船と人々の様子」ケ「絵画に見るヨーロッパとの貿易」の表題を読んで確認し、どの資料が解決の手がかりになりそうかつかませる。また、どの資料から調べるか確認し、調べ進める見通しをもたせる。

- ・教科書の文も手がかりにするよう促す。
- ・調べ方を確認し、定着を図る。
- ・うまく取りかかれない児童には、一緒に資料と関連のある文を結び付ける。
- ・調べて終わるのではなく、見方・考え方を働かせて「なぜそうしたのか」問いを意識する学び方を身に付けさせる。
- ・2つ目の資料について調べ終わった児童には、それらの資料を関連付けて考えられることはないか視点を与える。

- ・「この資料から、～がわかった。だから、～が考えられる。」のように根拠を明確にして説明することを確認する。
- ・友達の意見を聞いた後の肯定的な反応や質問などを促す。
- ・同じ資料から調べても、視点や考えが違うことがあり、それも大事な学びであることを押さえてから活動に入る。

(☆1)

・電子黒板で資料を提示することにより、①資料をどのように読み取っているかを学び合うこと②話し合いの視点を明確にしながら考えを交流することをねらう。

(☆2)

- ・児童が友達に考えを効果的に伝えることができるよう、できるだけ児童自身に電子黒板を操作させる。(☆3)
- ・児童の意見を整理したり関連付けたりして発表させることで、学びを深めていく。
- ・「交流」と「貿易」の違いを確認する。

・目的があって貿易をし、外国との貿易が今の生活にもつながっていることをおさえたい。

28分	<p>C ポルトガルやスペインと貿易をしたこと。</p> <p>C だれでも自由に商売をできるようにしたこと。</p> <p>C キリスト教を保護したこと。</p>	<p>知識・技能 想像図や絵図を読み取り、織田信長の政治の特徴を理解しているか。</p> <p>(発言・発表, ノート)</p>
振り返る	<p>6 学習をまとめ、振り返りをする</p> <p>(1) 全体での発表を聞き、人々の暮らしの変化をノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>信長は、商工業をさかんにし、外国との貿易やキリスト教を保護するなど、新しいことに取り組んで全国統一を目指した。</p> </div> <p>(2) 振り返りをノートに書く。</p>	<p>・書き出せない児童には、黒板のキーワードに着目させたり、出だしの文を考えさせたりして支援する。</p> <p>・振り返りの際は、次の3つの視点を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 織田信長から学んだこと ② 友達の考えのよさ ③ これからどうしていきたいか <p>・この頃の大船渡市はどうだったかを投げかけ、地域の歴史への関心も高めたい。</p>
8分		

(5) 板書計画

